

## 動画にいろんな効果を入れる

「SEffect」というソフトを使って、動画にモザイクなどの効果を入れてみます。動画の一部をボカすと、意外とおもしろい効果がありますよ。

このソフトは、Windows Vista 以降の OS だと、うまく動作しないところがあるかもしれません。その場合の対応方法も、解説します。

### 1. 動画ファイルの準備

「SEffect」で扱える動画ファイルは、AVI 形式のみです。加工したい動画ファイルは、AVI 形式に変換してください。加工したい動画がないときは、添付の sample.avi ファイルを使ってください。

(参考) <http://brief.ly/b7n692/>

### 2. 「SEffect」の準備

参考ページ(<http://brief.ly/b7n692/>)の、「SEffect」のページを開き、「6. ソフトのダウンロード」からファイルをダウンロード。

ファイルを解凍してできた「SEffect.exe」を、実行するだけ。インストール作業は、必要ありません。

「SEffect」で、できることは……

(1) マスク(黒い塗りつぶし)・矢印・モザイクの挿入

(2) 好きな画像(bmp,jpg,gif)の挿入

※Windows7 では、背景色の透過ができません。

(3) 動画の一部に、ぼかし・色調反転の挿入

(4) 動画の内部に、ほかの動画を挿入

(5) 動画の明るさ・コントラスト・彩度や色調の変更

(6) 動画の一部を拡大

(7) 動画スピードの変更や逆転

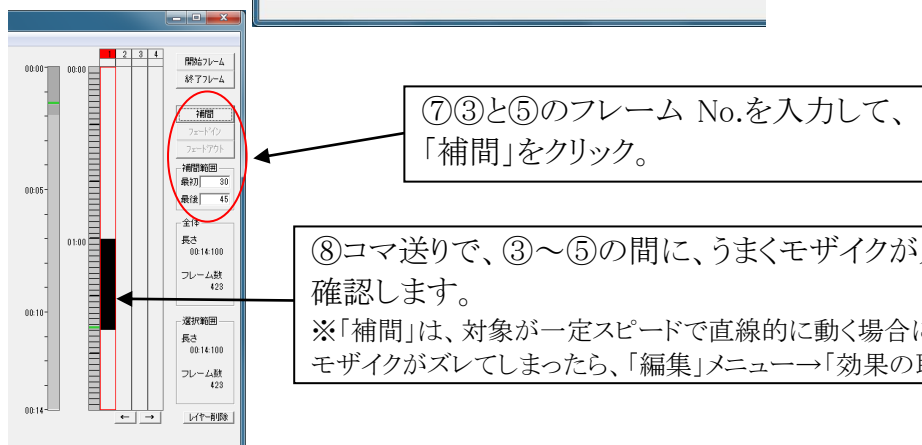
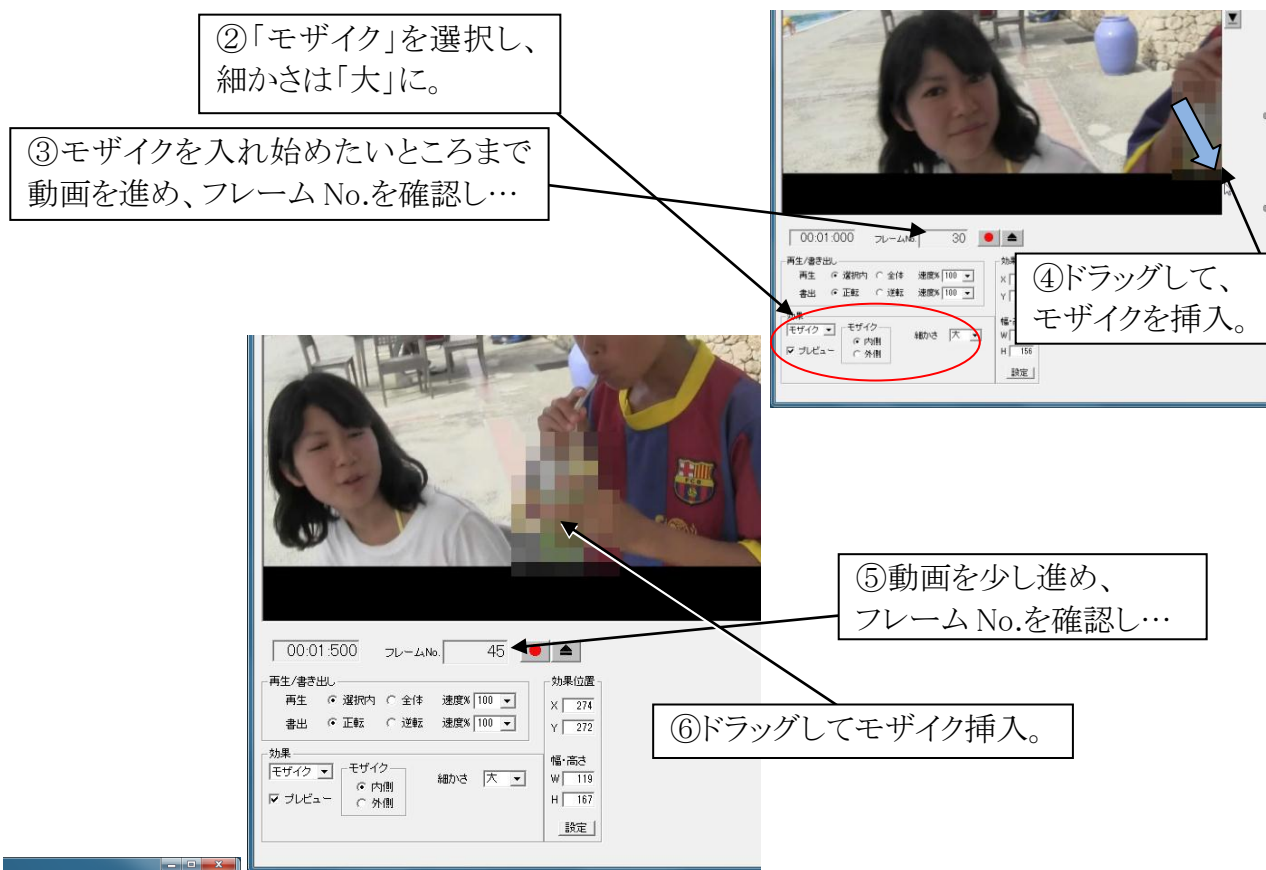
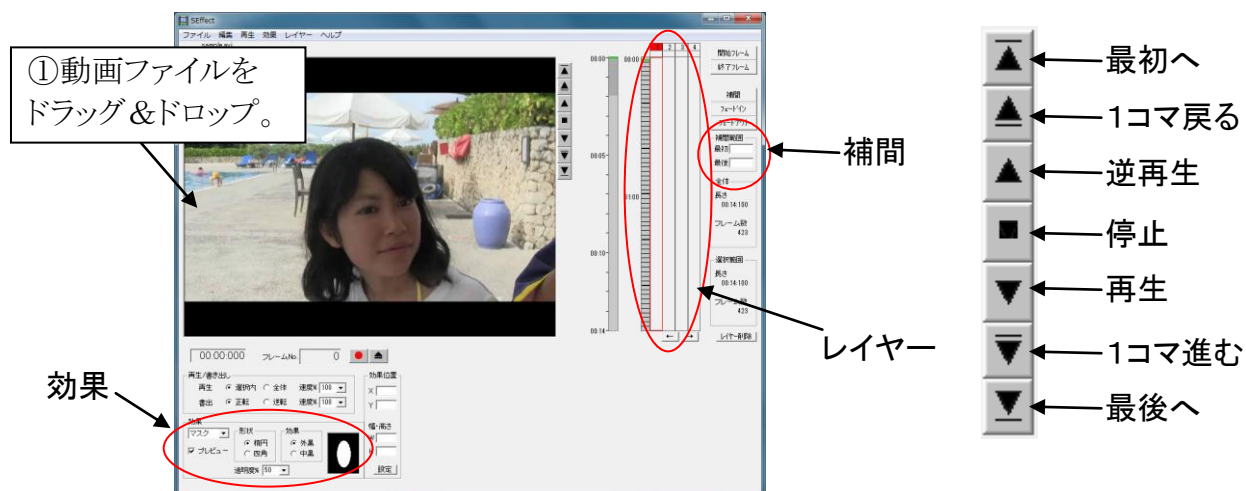
また、レイヤー(効果を重ね合わせるシート)が4つ用意されています。効果を、4つまで重ね合わせることができます。



Else111

### 3. 効果の挿入

ここでは、レイヤー1に「モザイクの挿入」をおこないます。他の効果も、同様の感覚でできます。



⑨ときどき、「ファイル」メニュー→「編集ファイルを保存」で、経過を保存しておきます。

⑩さらにフレームを進めて、フレーム No.を確認し…

⑪⑤～⑩フレーム間を補間。

⑫⑩～⑪をくり返して、効果の挿入を完了させます。

⑬通して再生して、内容を確認。OK だったら、●(ムービー書き出し)をクリックして、「保存」。

⑭「圧縮の品質」を好みに調整して、「OK」。

#### 4. トラブルへの対応

##### ◆音声の書き出しができない場合

Windows7 では、映像のみの書き出しになってしまいます。

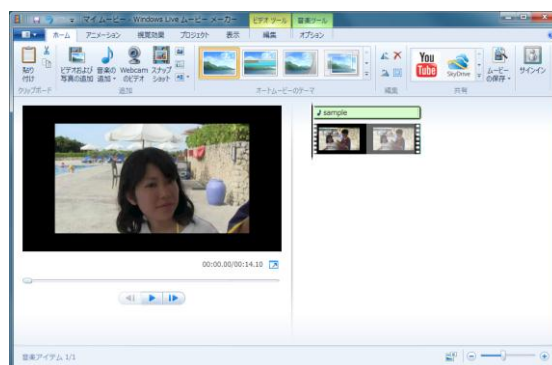
①動画変換ソフトで、動画を MP3 ファイルに変換。

(参考) <http://brief.ly/b7n692/>

②Windows Live ムービーメーカーを起動し、完成した「音声なし動画」を読み込む。

③「音楽の追加」で、①のファイルを読み込む。

④「ムービーの保存」で、音声付き動画を完成させる。



##### ◆動画内をドラッグしても、モザイクがちゃんと入らない場合

①「マスク」など、別の効果を選択する。「マスク」だったら、「四角」「中黒」に設定。

②モザイクを入りたい位置に、ドラッグしてマスクをかける。

③「効果の位置」の「設定」をクリック。

④「編集」メニュー→「効果の取消」。

⑤効果を「モザイク」に変更して、「設定」をクリック。

